

# 令和5年度 事業計画

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成17年2月25日  
所在地 : 豊中市中桜塚2丁目9番24号  
代表者 : 理事長 武内慎吾

## 法人概要

### 【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のばたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更		
令和 5 年 4 月(予定)	「のばたけマミー保育園」施設長変更	園長	長橋佳子

### 【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士・保育教諭は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士・保育教諭として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香  
所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号  
連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088  
E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦  
所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号  
連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426  
E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：長橋 佳子（予定）  
所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号  
連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455  
E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



## 法 人 計 画

さくらづか保育園およびのぼたけ保育園は幼保連携型認定こども園へ認可変更させて3年目となる。徐々にではあるが1号認定子どもの定員数を増やしなが  
ら安定した運営をしていくことができている。

さくらづか保育園は3・4・5歳児の保育室を少し改造して、弾力化定員を各  
1名ずつ増やすことができたので、1号認定の定員増に充てて運営していく。ま  
た、昨年できなかった園庭全体の遮光工事も予算内の見積り額であれば行う予定  
である。

のぼたけマミー保育園については、園長が長橋佳子園長に変更になる。定期的  
に施設長会を設けて、情報提供・連絡・相談を重ねながら運営を行っていきたい。

新型コロナウイルスも5月には5類になり保育業界の対応もその時々で変化  
していくと思われるが、法人内で連携を取りながら適切な対応を行っていく。

地域貢献に関しては、ここ数年新型コロナウイルスの影響で限定したものしか  
出来ていなかったが、様々なことが緩和されていくと予想されるので、園庭開放  
や地域住民との交流会および自治会行事等を通して、出来る限り地域と施設の密  
着した関係性を築いていくほか、「大阪しあわせネットワーク事業」を活用して地  
域の生活困窮者の情報を拾い出し、相談支援・経済的援助を行っていく。

## 各施設計画

### 【認定こども園 さくらづか保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	9名	20名	22名	23名 2名	23名 2名	23名 2名	120名 6名
弾力化実員 (4/1 予定)	15名	24名	24名	26名 1名	26名 2名	27名 0名	142名 3名

職員数：

種別	園長	主幹保育教諭	副主幹保育教諭	保育教諭	助保育教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	3名	1名	21名	—	1名	1名	2名	—	—
非常勤	—	—	—	15名	3名	1名	—	3名	1名	1名
合計	1名	3名	1名	36名	3名	2名	1名	5名	1名	1名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子ども一人ひとりの人権を大切に、教育・保育の基盤に置く。
- 子どもの遊びが発展する環境、生活面では、心と体が休まる安心・安全な環境づくりに努める。
- 地域活動を充実させ、子育て支援や地域支援に貢献する。
- 計画的有休休暇制度を新設することで、個々の有休休暇の使い方の充実を図る。
- 安全マニュアルを職員に周知させる。また、月1度子どもに安全指導を行い、交通のルールに対する意識の向上や職員は子どもの安全を確保できるように努める。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当園の理念・保育目標の理解を深め、職員が同じ方向で保育が行えるようにする。</li> <li>● 異年齢児保育を再開し、子どもたちの交流や職員同士の交流を深める。また、交流を通して子ども理解を深める。</li> <li>● 子ども一人ひとりの人権を大切にし、発達の凸凹に合わせた合理的保育を取り入れ、心身ともに安定し安全に遊べるように努める。</li> <li>● 野菜作りから収穫・調理・食することに関わり、食に対する興味や関心が持てるように計画を立て実施していく。</li> <li>● 安全対策マニュアルを職員間で学び確認する機会を設け、緊急時にスムーズに対応ができ子どもの安全を守れるように努める。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主幹・副主幹教諭からの指導による各リーダーの育成に努め、職員同士の思いや考えを伝え合うことのできる話しやすい関係づくりに努める。</li> <li>● 希望する研修が受講できるように配慮し、意欲的に学ぶ機会を設ける。</li> <li>● 有休休暇はほぼ100%消化ができていますので、計画的に有休休暇を取得できるようにする。具体的には勤続年数に応じて計画的有休の回数を決め、年度初めに計画的有休希望の申請を確定することで職員の有休休暇の使い方の充実を図る。</li> <li>● 事務処理や保育準備等は勤務時間内で終了させることができ、残業ゼロをほぼ達成できてきている。引き続き、残業ゼロ・有休休暇取得の促進に努める。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマイルサポーターを2名配置。地域の方の相談窓口として努めていく。</li> <li>● 園庭開放・0歳・1歳児親子【さくらっこサークル】の内容を充実させ、地域の親子を対象に行事(運動会)を企画し実施する。</li> <li>● 赤ちゃんの駅(園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供)</li> <li>● AEDの設置及び掲示</li> <li>● 公園清掃活動、地域の親子との交流</li> <li>● 保育実習生・ボランティアの積極的な受け入れ。</li> <li>● 年長児が高齢者の会の【まほろば会】【敬老の日】に参加し世代間交流を行う。</li> <li>● 北桜塚自治会の行事に参加を増やし、地域との交流を深める。</li> </ul>

その他特記事項

- 園庭の全体遮光工事

【幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園】

利用定員：

区分	3号認定			上段：2号認定 下段：1号認定			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	15名	25名	30名	30名 3名	30名 3名	30名 3名	160名 9名
弾力化実員 (4/1 予定)	15名	25名	30名	48名 4名	30名 4名	30名 2名	178名 10名

職員数：

種別	園長	副園長	主幹保育教諭	副主幹 保育教諭	保育教諭	看護師	栄養士	調理員	用務 警備員	事務員
常勤	1名	1名	2名	1名	32名	1名	1名	3名	—	1名
非常勤	—	—	—	—	9名	—	—	1名	3名	1名
合計	1名	1名	2名	1名	41名	1名	1名	4名	3名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもの人権を尊重する保育を展開する。
- 子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開を行う。  
乳幼児期の年齢に合った発達や生活を充実させ、子どもたちが好奇心や探求心を持って主体的に遊べるよう子ども一人一人の発達に即した環境作りに努める。
- 幼児クラスだけでなく0歳児クラスから、幼児期までに育てほしい姿10項目を念頭に職員同士がしっかり話し合い保育計画をたて、保育していくようにする。
- 園全体が同じ思いで保育・教育していくためにも、園内園外研修に参加し研修したことを、園内でしっかり共有し保育の質を高めていくようにする。またチーム力を高めるため職員が共通認識を持ち、お互いに協働して保育を行う体制づくりに努める。
- 保護者から信頼されるような、地域に根差した園づくりに努め、地域の関係機関と連携を図り、園と家庭、地域社会がそれぞれの力を十分に発揮し合って乳幼児期の育成あたるような方策を園がしっかりリードして進めていく。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもが安全に安心して過ごせ、また一人ひとりの発達や興味にあったあそびが豊かに展開できるよう教育・保育環境を整え、子どもが自主的にあそぶ姿を見守り、発達に必要な経験が得られるようにする。</li> <li>● 0歳児クラスから運動を通して様々な知育・徳育・体育を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と照らし合わせ関連づけながら保育計画を立て実践していく。</li> <li>● 保護者のニーズに応え、課外活動の場を提供するなど園の特色を前面にだせるよう園全体で取り組んでいく。</li> <li>● さくらさくらんぼやリトミックを通して体幹を鍛え安定した体づくりを努める。</li> <li>● 食に関する意欲や関心を持てるよう、園の畑やプランターを用いて各クラスが年間を通して食育活動を計画的に進めていけるようにする。</li> <li>● 今年度より、コロナ前の行事体制にもどしていくのか再度検討し、見直しできるものは見直し、行事中心の保育にならないよう子どもを中心として考え園行事を実施する。</li> <li>● 園児置きざり防止を支援する安全設置のガイドラインを受けて、毎日の人数点呼や散歩や遠足時には必ずガイドラインに沿って行動する。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員一人一人が自分の役割・機能を自覚し、与えられた役割や仕事に責任を持って取り組めるようにする。役職に応じた仕事の役割をしっかりと定義し共通理解をする。</li> <li>● 働き方改革に基づく休憩時間の保障と有給休暇の計画的取得に努める。</li> <li>● 全員参加型の園内研修を実施し、職員ひとりひとりの保育観の共有や意識統一を図り、保育の質の向上へと繋げる。</li> <li>● 職員間で保育の情報の共有ができるよう、乳幼児職員間の話し合いの場を定期的に設け、チーム保育をめざす。</li> <li>● 職員の児童虐待防止マニュアルを年内に作成し、定期的に園内研修を行う。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域に開かれた園を目指し、積極的に地域に関わるよう努める。一時保育や園庭開放などを通じて遊び場を提供し、地域の子育て相談にのるなど地域に開かれた施設として地域住民に貢献できるようにする。</li> <li>● 実習生を積極的に受け入れ、マニュアルを作り、適切な指導や助言を行っていく。</li> <li>● リニューアルしたホームページを活用し、園での取り組みや新しい情報を常に発信していくとともに、ITを積極的に活用し地域や保護者に伝えていく努力をする。</li> <li>● 園の門に AED の看板を設置する。</li> </ul>

その他特記事項

【のぼたけマミー保育園】

利用定員：

区分	3号認定			2号認定			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定員	6名	7名	7名	—	—	—	20名
弾力化実員 (4/1 予定)	5名	8名	8名	—	—	—	21名

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	調理員	用務員
常勤	1名	1名	9名	1名	2名	—
非常勤	—	—	1名	—	—	1名
合計	1名	1名	10名	1名	2名	1名

嘱託医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	—	—	—	2名

第三者委員：安芸雅美、平川郁子

本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもの人権の尊重をすべての取り組みの基盤とする。
- 家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの子どもを大切に育てる。
- 興味や意欲をもって行動できる子どもを育てるために保育環境の充実を図る。
- 広く地域に関り貢献する。
- 日常の生活の中で、互いを認め、尊重しあう気持ちを育む。

目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人ひとりの子どもの発信を見逃さず、応答的な保育を行う。</li> <li>● 子どもが安全に安心して過ごせ、また、一人ひとりの発達や興味にあった遊びが豊かに展開できるよう保育環境を整えるとともに、子どもが自主的に遊ぶ姿を見守り、支援したり、共感したりしながら考える力や意欲の育ちを応援する。</li> <li>● 野菜を育てたり食材に触れたりして食への興味を深め、食べる楽しみにつなげる。</li> <li>● 小動物や植物など自然とのふれあいを通して命の大切さを感じるとともに、豊かな感性を育てる。</li> <li>● 運動遊びを楽しみながら体幹を鍛え、安定したからだの基礎をつくる。</li> <li>● 心身共に健康な日常を過ごせるよう、衛生的な環境づくりに努める。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 希望する研修が受講できるよう配慮し、意欲的に学ぶ機会を作る。</li> <li>● 体調不良時は遠慮なく休養がとれる環境を作る。</li> <li>● 保育から離れて、事務を執る時間を確保する。</li> <li>● 特技を生かした活動に取り組むことで組織内での存在意義を高め、自信につなげる。</li> <li>● 各々の事情を理解し、助け会える環境を作る。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 月1回「みんなであそぼ」で地域の0～2歳児と交流。・絵本貸出し</li> <li>● スマイルサポーターによる育児相談を行う。</li> <li>● 赤ちゃんの駅（オムツ交換・授乳場所の提供）</li> <li>● 異世代交流 地域の高齢者施設「アクティブライフ豊中」訪問及び招待。</li> <li>● 公園清掃活動、地域の親子との交流。</li> <li>● 夏祭り</li> </ul>

その他特記事項